

平成26年度

# 単位施策評価表

所属 19400000

生活環境部 人権・男女

施策	7202 男女共同参画の推進							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	男女共同参画を推進するため、男女共同参画プランの推進、男女共生大学の開催、男女共同参画の情報提供の充実等を図る。							
成果指標	研修会等出席者数・・・5年間（平成25年度～平成29年度）で600人（現状値550人）							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [人]	予定	560.00	570.00	580.00	590.00	600.00	
		実績	601.00	647.00				
	成果指標2 [ ]	予定						
		実績						
	成果指標3 [ ]	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 [ ]	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	20,503	20,444	0	0	0	
実績		19,980	20,089			0		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の審議会等への女性委員の登用率を目標値まで高めるには研修会等を通じ男女共同参画の意識を高めることが必要であるので本単位施策の目標達成による貢献度は高い						
	達成状況	昨年度に引き続き、本年度は目標値を上回る出席者数であった。						
	課題	知名度が高い講師を呼ぶことは予算上困難であるので、内容やPRの仕方を工夫することが必要であると思料する。						
	取組方針	ミニ市民のつどいと出前講座については、自治会や団体等の希望により実施するので、各々年間2回以上実施出来るよう、あらゆる機会を捉えてPRする。						
外 部 評 価	<p>成果指標の達成に向けて順調に推移しているが、研修会等へ参加するだけで男女共同参画の推進が図られるか疑問を感じるので、男女共同参画に寄与する指標を設定するべきであると思うので指標の見直しを含め再検討を望む。</p> <p>男女共生大学における事業内容がマンネリ化しており、受講する魅力が薄れている。講座内容の一新を図り、楽しく学べる魅力的な講座内容となるよう見直しを行い、新規受講生の確保に努めていただきたい。</p> <p>各地域ごとに目的を同じくする団体があるが、地域意識が強く市として一体感の醸成に繋がっていないので、団体の一体化に向けて行政の指導力を発揮していただきたい。</p>							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	106401	男女共同参画情報提供事業費				4,342	100	
	106701	女性青年リーダー育成事業費				850	100	
	106101	男女共同参画推進事業費				7,197	90	
	106201	男女共生大学開催事業費				3,869	90	
	106301	男女共同参画プラン管理事業費				3,831	90	
	106501	男女共同参画都市宣言記念事業費				0	0	

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	030101	予算事業コード	106201	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策													
事業名	男女共生大学開催事業費										主	7202	基本的人権の尊重		男女共同参画の推進												
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 男女共同参画担当 男女共同参画チーム					担当者	中嶋 美佐		従																		
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	1,956 千円												
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・男女共生大学企画・募集業務 ・男女共生大学運営業務 ・男女共生大学運営委員会開催業務 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・女性も男性も、持っている能力を十分に発揮できる、男女共同参画社会を実現させる																			
	成果目標	研修会等出席者数・・5年間(平成25年度~平成29年度)で600人(現状値550人)																									
単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込																									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0		0																							
	県支出金	0		0																							
	地方債	0		0																							
	その他特財	58		70																							
	一般財源	61		80																							
	事業費 a	119		150																							
	人件費 b	3,750		2,250																							
減価償却費 c	0		0																								
総事業費 a+b+c	3,869		2,400																								
結果指標 1	58.00		80.00		指標名	受講者数		算出方法	受講者数		単位																
結果指標 2	8.00		8.00		指標名	講座の開催回数		算出方法	開催回数		単位																
事業の事後評価	<table border="1"> <tr> <td>妥当性</td> <td>コスト削減の余地</td> <td>受益者負担</td> <td>上位貢献度</td> <td>類似事業の有無</td> <td>成果向上の余地</td> </tr> <tr> <td>妥当</td> <td>無</td> <td>適正</td> <td>有効</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </table>															妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	妥当	無	適正	有効	有	有
妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地																						
妥当	無	適正	有効	有	有																						
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・受講生の顔ぶれが固定化している傾向にあるので、開催する時間帯・場所を工夫し、さらに多くの新規受講生を獲得したい。 ・日々変化する日本における、男女共同参画の現状や課題について、市民に理解を深めていただくために、多方面にわたり、講座内容や講師の選定等を検討・工夫する。																										
事後評価備考																											

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	030101	予算事業コード	106301	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策							
事業名	男女共同参画プラン管理事業費										主	7202	基本的人権の尊重		男女共同参画の推進						
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 男女共同参画担当 男女共同参画チーム				担当者	中嶋美佐					従										
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	男女共同参画社会基本法							事業期間	H25 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	1,290 千円						
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・男女共同参画審議会開催業務 ・男女共同参画推進本部・幹事会・検討部会開催業務 ・年次報告書作成業務 ・男女共同参画に関する調査・研究業務 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・男女共同参画プランに基づく施策が円滑に実施され、プランの実施期間中に、プランに定める目標を達成させる。 ・男女共同参画プラン(第2期分)を策定する。また、プラン策定に向け、市民意識調査を実施する。									
	成果目標	研修会等出席者数・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で600人(現状値550人)																			
単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込																			
事業費・指標の推移	国庫支出金	0																			
	県支出金	0																			
	地方債	0																			
	その他特財	0																			
	一般財源	81	222																		
	事業費 a	81	222																		
	人件費 b	3,750	3,750																		
減価償却費 c	0	0																			
総事業費 a+b+c	3,831	3,972																			
結果指標 1	25.00	30.00	審議会等への女性委員の登用率	女性委員数 ÷ 審議会等の全委員数			%														
結果指標 2	76.70	80.00	検討部会研修会出席率	出席者数 ÷ 検討部会の全委員数			%														
事業の事後評価	妥当性	妥当		コスト削減の余地	無		受益者負担	適正		上位貢献度	有効		類似事業の有無	無		成果向上の余地	有				
	事業の事後評価																				
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・プランに定める目標値の達成に少しでも近づけるよう、特に「審議会等への女性委員の登用率」の調査書の項目を工夫し、今後予想される数値や、達成を妨げる理由等が明らかになるようにし、その結果を見て対策を考えていきたい。																				
事後評価備考																					

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	030101	予算事業コード	106401	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	男女共同参画情報提供事業費										主	7202	基本的人権の尊重		男女共同参画の推進		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 男女共同参画担当 男女共同参画チーム					担当者	中嶋美佐					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	男女共同参画社会基本法								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	5,224	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・男女共同参画に関する広報・啓発活動を行う ・男女共同参画地域推進員や男女共同参画に取り組む団体等との連携の強化を図る 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・市や男女共同参画地域推進員が発信する男女共同参画に関する情報が広く市民に浸透し、男女共同参画に関する市民の意識を向上させる。					
											成果目標	研修会等出席者数・・5年間(平成25年度~平成29年度)で600人(現状値550人)					

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	平成26年度						平成27年度					
	県支出金		0	0	【事業内容】 広報・啓発活動 男女共同参画地域推進員との協働による活動 男女共同参画に関する標語(小5・一般)と写真(一般)の募集 【成果】 ・地域推進員と協働でミニ市民のつどいを1回、視察研修、交流会を行った。・男女共同参画のつどいを開催し、男女共同参画に関する標語と写真の募集、表彰を行った。・市内スーパー7カ所において男女共同参画週間の啓発物資を配布した。											
	地方債		0	0	広報・啓発活動 ・男女共同参画広報紙の発行 ・各種啓発チラシの作成・配布 男女共同参画地域推進員との協働による活動											
	その他特財		0	0	・男女共同参画週間における街頭啓発 ・事業所等への啓発 男女共同参画に関する標語(小5)と写真(一般)の募集											
	一般財源		592	617												
	事業費 a		592	617												
	人件費 b		3,750	3,750												
減価償却費 c		0	0													
総事業費 a+b+c		4,342	4,367	指標名	算出方法				単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		141.00	100.00	男女共同参画のつどい参加者数	参加者数				人	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2		55,000.00	55,000.00	男女共同参画広報紙発行部数	発行部数				枚							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
	・地域推進員が編集委員となる男女共同参画広報紙「きららとちぎ」を、内容をさらに充実させ、年1回市内全戸配布を引き続き行なう。 ・ミニ市民のつどいや出前講座が年2回は以上実施出来るよう、あらゆる機会を捉えてアピールし、少しでも多くの市民の男女共同参画推進の意識啓発につなげたい。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--